



豊里

大きな掛け声で綱を引き合い

「第34回子ども綱引き大会」(豊里町子ども会育成会連合会主催、遠藤たえ子会長)は6月30日、豊里公民館大ホールで開かれ、参加した児童が熱戦を繰り広げました。今年9行政区から13チーム、総勢117人の児童が出場。大きな掛け声で力一杯懸命に綱を引き合いました。競技は、予選リーグを勝ち抜いた上位8チームが決勝トーナメントに進み、昨年に引き続き下町クローバー子ども会が優勝しました。

災害に備え防災体制を再確認

「米山地区防災訓練」は6月9日、吉田運動場で実施され、市消防団米山支団や米山支部婦人防火クラブなどから参加した約360人が訓練に励みました。訓練は、災害が発生したことを想定し、避難誘導、避難所開設、初期消火や応急救護などを実施。消防団による小型ポンプ放水訓練や小隊訓練も実施され、終了後には婦人防火クラブが炊き出したカレーライスを全員で試食しながら話し合い、防災体制について再確認しました。



米山

緑の芸術が会場内に咲き誇る

「第26回花季展」(石越コミュニティ運営協議会主催、菅原健一会長)は6月8、9日の両日、石越公民館で開かれ、約100人の来場者がさつき、盆栽、山野草などの草花を楽しみました。会場には、石越地区内のさつき、盆栽、山野草愛好家が育てた84点の作品が展示。さつき作り相談コーナーも設置され、愛好家たちは手入れなどの情報を交換しながら互いに交流を深めました。



石越

五月雨に映えるハナショウブ

みなみかた花菖蒲の郷公園のハナショウブが、6月中旬から下旬にかけて見頃を迎え、見物客でにぎわいました。6月16日の「みなみかた花菖蒲まつり」は、前日からの雨で急きょ中止。それでも訪れた人は、雨に映えるハナショウブを眺め、散策を楽しみました。夫婦で来場した星正二さん(70)＝岩沼市＝は「公園が整備されていて、雨でも歩きやすかったです。この時期は花を見に出掛けていますが、このハナショウブが一番ですね」と話していました。



南方

紙芝居で交通ルールのお勉強

津山子育て支援事業「ぼんぼこ広場」による「交通安全教室」は6月12日、津山子育て支援センターで開かれ、幼児と保護者21人が参加しました。教室では、津山地区交通安全指導隊(山形智章隊長)、登米警察署柳津駐在所、横山駐在所員らが大型の紙芝居を使い、飛び出しの危険や道路の正しい渡り方を題材にした物語を読み聞かせ。子どもたちは、目を輝かせながら保護者と一緒楽しく交通ルールを学びました。



津山

優勝目指して熱戦繰り広げる

「ふるさとスポーツ祭中田町域大会」は6月23日、中田総合体育館と中田球場で開催され、ソフトボールとビニールバレーボールの2種目に約300人が参加しました。ソフトボールは晴天に恵まれ、暑さに負けじと力強いスイングで得点を重ねた加賀野二区が優勝。ビニールバレーボールの決勝戦は、昨年と同じ顔合わせとなり、一歩も譲らぬ白熱した試合が繰り広げられ、昨年優勝の南区を制した茶畑区が優勝をつかみ取りました。



中田

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

新田地区死亡事故ゼロ5千日

迫町新田地区の交通死亡事故ゼロ5千日達成を記念した祝賀会は6月5日、新田公民館で開かれ、出席した地域住民らに、表彰状や矢羽細工の盾が披露されました。新田地区は、2005年8月から交通死亡事故ゼロを継続し、4月23日で5千日を達成。新田地区コミュニティ推進協議会の星昭男会長は「交通安全に対する地域住民の意識を高め、今後も記録を伸ばしていきたい」と力強く決意を述べました。

元気な選手の姿に大きな声援
「第74回とよま地区市民体育大会」(とよまコミュニティ運営協議会主催、佐藤貞一会長)は6月16日、登米総合体育館で開かれ、町内の18チームから約700人が参加し、心地よい汗を流しました。市民体育大会はリレーや綱引き、玉入れなど10種目を実施。選手は元気に競技に挑み、熱戦が繰り広げられると、客席からは大きな声援が送られ、昨年に引き続き小島町内会が総合優勝し、2連覇を達成しました。



登米



東和

クリスタンの里で自然を満喫

「第35回クリスタンの里まつり」は6月2日、東和町米川綱木農村公園で開かれ、約300人が訪れました。日本最北の殉教地といわれる隠れクリスタン史跡「三経塚」では、カトリック教徒が献花。祭り会場では、郷土芸能やよさこいソーランなどがステージで披露されたほか、山菜や陶芸品などの特産品が販売されました。会場前の綱木沢川では、恒例の魚のつかみ取りが催され、参加者は冷たい沢水に歓声を上げながら、夢中で魚を追いかけていました。